



# にをいがけは教祖の お役に立つ喜び

## 11月大教会教会長会議

立教182年11月22日

### 大教会長 片山幹太

# 本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268  
**天理教本島大教会**  
 電話 0877-27-3321 (代)

本島通信編集室 R.191123-1128-15  
 奈良県天理市指柳町270-1  
 本島詰所 〒632-0093  
 電話 0743-63-1571 (呼)

Email: news@honjima.com  
 発行部数: 891部 (先月比-6)

大教会 朝夕おつとめ時間  
 【11月1日～12月31日】  
 朝づとめ 午前6時45分  
 タづとめ 午後6時00分

第29回女子青年大会が11月3日に教会本部で開催されました。おちばでの開催は6年ぶりとのことでした。

「女子青年活動のかどめ」が3つあります。「教会へ参拝しましょう」「ひのきしんをしましょう」そして3つ目が「にをいがけしましょう」です。

そこで「にをいがけ」について考えてみました。

少し下品な話になりますが、おならをしたら周囲に迷惑をかけてしまいます。皆さんも経験があると思います。知らず知らず、臭いが伝わっていきます。

同じことで、教祖の教えを手本に自分を磨いていくことによって、良い匂いも知らず知らずのうちに周囲へ伝わって行くのではないのでしょうか。

これは宮森与一郎先生よりお聞かせ頂いたお話です。

明治16年3月、教祖はお屋敷に勤めていた高井猶吉先生を呼ばれて「遠州へ行ってきておくれ」と御用を頼ま

ました。素直な高井先生はその足で遠州へ行こうとしたところ、玄関で掃除をしていた宮森与三郎先生が声をかけ「それならわしも一緒に」と二人でお屋敷を出発しました。

ところが高井先生も宮森先生も、遠州がどこにあるか分かりません。そこでまず大阪の井筒梅治郎先生を訪ねました。井筒先生は綿問屋を営まれていて世間に明るい方でした。話を聞いた井筒先生は「教祖の御用なら、わしも行こう」と、立花善吉先生も誘って4人で遠州へ向かうことになりました。

途中の宿屋で4人の先生は、おてふりの稽古をしました。その稽古があまりに陽気だったので、隣の部屋からおひねりが飛んで来たそうです。おひねりとは、紙に小銭を包んで客席から舞台に投げられるものです。当時の先生方のおてふりは、とても明るく勇んでいたのだらうと思います。

その後、4人の先生は遠州の諸井國

## 本島大教会 創立120周年記念祭

立教185年(令和4年2022) 5月21日(土) 執行

一手一つに皆結んでくれるなら、  
 どんな守護もする。

(おさしづ M31年1月19日)  
 真村様・立教百八十一年春季大祭神楽講話より

三郎先生の天輪講(後の遠江真明講)で道の理を伝え、てをどりの稽古をつけられました。(高井猶久編「高井家資料参照」)

4人の先生は、なぜそんなに楽しく嬉しくおつとめの稽古ができたのでしょうか。それはきっと、教祖のお役に立てるといふ思いでいっぱいだったからだと思います。その勇み心が周囲を感化していくのではないのでしょうか。稿本天理教教祖伝逸話篇に「人が好くから」といふお話があります。教祖は、「人が好くから神も好くのやで。」と仰せられました。

人が好く、神が好くというのは、日々陽気ぐらしのできる人のことではないかと思えます。

私たちは常日頃から、ご存命の教祖のお役に立つ、教祖に喜んでもらおうという、陽気ぐらしの心で努めさせて頂きましょう。

ありがとうございました。

(文責・本島通信編集室)

# 大教会で勤める有り難さ 一手一つに教会活動を

大教会准役員  
おかざきやそのり  
岡崎八十則

只今は大教会長様を芯に、おつとめ奉仕の先生方やご参拝下さいました皆様と共に、11月月次祭を陽気に勇んでつとめさせて頂きました。心よりお慶びを申し上げます。

届かぬ者ではございますが、最後までお付き合い下さいますようお願いいたします。



私の二女と三女は只今、大教会女子青年つとめに伏せ込んでくれております。

大教会では在籍の方や、教会長様方、信者さんに大変可愛がって頂いておりまして、誠に有難い限りでございます。

私の両親も在籍者として大教会におりますので、娘たちにとっては、おじいさん、おばあさんと一緒に大教会で生活しているような感じだと思えます。

私たち夫婦は娘たちと離れて暮らしておられますので、御用を通して娘たちを仕込んでくれる両親には感謝しております。娘たちも楽しみながら勤めてくれているようでありませう。

二女は天理高校卒業後、白梅寮に入寮し、お道の保育士を目指して専門学校に通い、卒業後は保育士として天理陽徳院に1年間、神戸の同朋学園に2年間勤めた後、大教会女子青年となり、

約1年間伏せ込ませて頂きましたが、本日をもって終了し、自教会に帰って来ることになっております。

二女は女子青年つとめを終了したあかつきには、友達と大好きなバンドのコンサートに行く約束を、随分前からしておりました。ところが修養科女子教養掛の御命を頂き、その研修会の日程がコンサートと重なってしまいました。

大好きなバンドのコンサートに行くのか、それとも教養掛研修会に行くのかと訊いたところ「コンサートを断って御用を勤める」と返事が返ってきました。

私はてっきりコンサートを選ぶとばかり思っておりました。もし私が娘の立場ならどうしていただでしょうか。本当に自分の娘なのかと思ってしまうほど驚きました。

娘は、自分が歩む道が分かれていたとき、親神様が一番喜んで下さる道を選べるようになってきたことが、何より有難いことだと思えました。

次に、三女は天理高校卒業後、すぐ大教会女子青年になりました。そんな娘の文章が香川教区月報に掲載されたので、読ませて頂きます。

「2019年が明け、女子青年として

の初めての元旦祭をつとめさせて頂き、大教会では恒例となっている書初めさせて頂きました。在籍の方の書初めを見ていたら、大きなどっしりとした字で、『伏せ込みは先の楽しみ』と書いてある祖母の字が目に入りました。私はびっくりしたと同時に、恥ずかしながら、まだ伏せ込むの？と思ってしまうました。

祖母は今年で80歳になります。結婚して本島にやって来たその日から、在籍者として炊事や様々なひのきしんをしてきたことを子供の頃から聞かせてもらっていましたが、何十年も続けて来た生活に対して、伏せ込ませて頂くという意識を持っていることに、感動しました。

私は女子青年つとめを2年間しっかりと伏せ込ませて頂くことと心に決めてやってきましたが、無意識のうち心のどこかで伏せ込みの期間を決めてしまっていたことを、親神様が祖母を通して気づかせてくれたのだと思えました。

これは私の想像ですが、祖母の中の『先の楽しみ』とは、祖母自身が感じるのはなく、祖母に繋がっている人全員が陽気に暮らしていけることなのかなと思ひ、心が温かくなりました。私の中でまったく新しい意味として治

まった『伏せ込みは先の楽しみ』という言葉を通じて、これからの日々を通して頂きたいと思います。」

親として、有難い悟りだと思いました。もちろん大教会で勤めている期間、

娘たちから時には不足の電話がかかってくることもありました。私たち夫婦としては、その都度よく話を聴いてあげた上で、こちらが思うことを話して一応は治まった形になりました。

私が思いますことは、大教会勤めでは、喜べることはばかりでなく、そうではないことも多々あるものですが、見せられたことすべてに、信仰に基づいた受け止め方や判断の仕方、そして喜び方を学ぶことができるのが、最も有難いことだと思っています。

皆様にも大教会青年勤めを、強くお勧めめしたいと思っています。

次に「一手一つ」についてお話ししたいと思います。

一手一つとは、お道でよく聞かれる言葉であります。私自身、本島野球部に携わることで、一手一つの素晴らしさを経験いたしました。その野球部誕生から優勝までの道のりについてお話しさせていただきます。

今から12年前の秋に、大教会長様の

随行で、ある教会の年祭に参拝した時のことです。当時大学生であった伊東賢太郎君が、大教会長様に「本島大教会で野球部を設立して、全教野球大会に出場したい」と相談されました。

そばで聞いていた私は、「本島には鼓笛隊や和太鼓など音楽を通じての活動はあるが、スポーツの活動はなかったなあ」と考えておりましたところ、大教会長様は「それは良いことです。早速野球部を作りましょう」と返事をされ、続いて私を見るや「あと八十則さんお願いします。賢太郎君とよく相談しておいてください」と言われました。

野球はキャッチボールくらいしかしたことがない私でしたが、今になって考えると、大教会長様の声を頂いたことで、素晴らしい経験と大きな喜びを味わうことができたことに大変感謝しております。

まずは翌年4月にある全教野球大会香川県予選に出場するために準備を進めることに話がまとまりました。そこで、活動資金をどうやって集めるのかが一番の問題となりました。

スポンサーがありませんので、まずは自分達でバザーと募金活動を行い、資金を集めることを考えました。

本島で採れる海の幸(さざえ・たこ・メバル・ナマコなど)をご帰参の皆様喜んで頂こうと、バザーで販売させて頂きました。大教会婦人さんも協力下さいました。

さまざまなバザー品の中でも一番の思い出は、タイラギ貝のひもの部分を使った炊き込みご飯です。当時、本島の周辺ではタイラギ貝が捕れました。その貝柱は商品として出荷されますが、貝柱以外のひもの部分は商品価値がなく捨てられていました。そこで、もらってきて、きれいに洗浄して炊き込みご飯を作ったところ、大変好評でした。現在ではタイラギ貝の漁獲量が少なくなり、炊き込みご飯を作ることができなくなつたのは残念であります。

またバザー会場に募金箱を置いて、募金の呼びかけをしました。大教会へたまにしか帰って来られないメンバーには、募金箱を持って信者会館の各部屋へ訪ねて歩き、大勢の教会長様方に募金のご協力をお願いして歩きました。何とか資金も集め、春の県予選に出場したところ、予想外にも優勝してしまい、次はおちばの全国大会出場が決まってしまいました。

そこで大きな問題になったのは、ユニフォームと野球道具を規定通りに揃

えないと大会に出場できないというルールです。そのため、全国出場が決まった後は、ユニフォームと道具を揃えるために、さらに熱のこもったバザーと募金活動を進めました。

必死に募金をお願いをしている最中、こんなことがありました。

それは、地方におられる信厚さんから手紙と募金が送られていたことです。

「私は昔、大教会で大変お世話になりました。そのことが忘れられず、いつか恩返しがしたいと思っておりました。このたび、本島通信を見て野球部の募金のことを知り、協力させて頂きたく募金を送ります」と書いてあり、さらに「この募金がかつかけで、久しぶりに所属教会の方と会うことになりました」とも記されておりました。

野球部の活動が教会活動の一助となっていることが、とても嬉しく思いました。

そして全国大会へ初出場した年に、初優勝するという快挙となりました。

私は野球部の誕生から全国大会の初出場初優勝まで一番近くで見っていた一人です。

これは単なる野球部設立の話だけではないと思っています。教会活動の一環であり、野球部メンバーだけでなく、



募金やバザーにご協力くださった大勢の皆様のおかげであり、その心が一手一つに結んだところに勇みをお見せくだされた親神様のご守護の姿だと思えます。

「一手一つに皆結んでくれるなら、どんな守護もする。(おきしう M31・i・19)」

これは本島大教会創立120周年記念祭に向かつての成人目標であります。記念祭は令和4年5月21日に勤められます。今から数えますと2年と半年、月で数えると30ヶ月後に迎えることになります。

そこで皆様に改めてご相談させて頂きたいことがあります。

お互いの持ち場や立場は違いますが、それぞれの立場で同じ目標に向かつて懸命に働きをすることにあります。

例えば、来年4月19日は婦人会創立110周年記念総会が開催されます。現在、婦人会の先生方には、この総会に向けて懸命に準備を進めておられます。

その一方で、男性は、それが婦人会総会なのだから関わらなくてもいいと思っていないでしょうか。それでは一手一つの精神に欠けることになると思えます。

同じように、大教会創立120周年を指して、各教会につながる一人ひとり

が我がことと思いい、それぞれの立場でできることを考え、自ら実行することが、大きなご守護を頂ける元になると思えます。

本島大教会の信仰信念の一つに「親孝心」があります。

記念祭に向かつて、親孝心を十分に尽くし、三年千日を一手一つに歩み、ご守護を頂いた実を以て喜び勇んで共々に努めさせて頂きましょう。

ご清聴ありがとうございました。

(文責・本島通信編集室)

### 大教会長動向

#### ▼12月(予定)▲

- 1日、本部神殿奉仕当番
- 6日、本部神殿奉仕当番
- 8日、教人資格講習会
- 17日、教会長おやさ研修会  
委員会
- 19日、大教会お社大掃除
- 22日、大教会月次祭執行
- 24日、修養科総立ちまなび
- 25日、かなめ会委員会
- 26日、本部月次祭参拝
- 30日、本部神殿奉仕当番

以上

## 本水島分教会 鎮座奉告祭

本水島分教会(山下英久会長、岡山県倉敷市)では、去る8月26日のお運びで、神殿屋根葺替願の理のお許しを戴いておりましたが、工事も無事に竣工し、11月3・4日に大教会長を迎え(随行・片山好治役員)、鎮座奉告祭を執り行いました。参拝者29名。

本水島分教会の建物は築後50年以上が経過し、老朽化していることに加えて、昨年9月の台風21号により神殿の屋根に被害が出て雨漏りするようになり、このままではいずれ親神様・教祖の御目標様並びに祖霊様に不敬が及ぶことが危惧されることから、教会長はじめ役員信者が談じ



合い、神殿の屋根を葺き替えることに相談がまとまり願い出しました。

お運び後は先ず御目標様を9月6日、教職舎部分の和室に仮神床を設けてご遷座申し上げ、続いて神殿部分195・83平方メートルの瓦の葺き替え工事にかかりました。

奉告祭前夜の11月3日午後6時30分より、鎮座祭が厳かに勤められました。翌4日は晴天のもと、午前10時より奉告祭が執り行われました。

挨拶に立った大教会長は、まず工事に携わった関係者にお礼を述べられた上で、教会が目指す「互い立て合いい、助け合い」の姿について、ジグソーパズルを例えに、「一人ひとりの徳分や立場は違っても、それぞれが役割を自覚し、一生懸命勤めることが大切です。」と、教会につながる一人ひとりが欠けることなく、一手一つに教会活動を進めていくことを促されました。

続いておつとめが陽気に勇んで勤められ、山下会長は大教会創立120周年記念祭に向かつて信者一同勇んで勤めさせて頂くことを誓いました。

# 十一月月次祭 祭典役割

**獻饗長** 片山好治  
**伝供** 老木邦光・篠原丕王・向所隆文・永島宗行・大上道徳・原口実・後藤正治・奥村龍夫・伊東康成・高島栄造・宮路和徳・茶屋原良昭・肥後章・位下道治・渡部友見・鎌田典夫・宮路茂照・山下英久・須崎晴道・今野孝・  
 村田輝夫・星久・松下正一・上山康雄・橋口徹・溝口晋太郎・倉嶋孝明・大矢万三  
**雅楽奉仕者** 文岡育則・高垣光治・雲庵春彦・横関茂治・片山直明・長尾海和・岩橋守行・鎌田康典(順不同)

神殿講話	胡三味線 三味琴 小鼓 すりがね 太鼓 拍子木 ちゃんぼん	てをどり	地 方	祭主 大教会長	座りづとめ	指図方 寺本教生	扨者		
				片山 勲	つをどり前半	片山 勲	賛者		
				吉田晴雄	つをどり後半	平井真治郎			
岡崎八十則	向所暉美子 片山 榮 長尾澄子 雲庵道延 吉田晴雄 井上 哲 窪田靖明 片山好治 牧野道昭	池田さわみ 片山やすゑ 会長夫人 岩橋慶三 岡崎俊郎 大教会長	寺本管一郎 老木邦光	後藤正治 片山直明	岡崎八十則	篠原丕王 永島宗行 雲庵春彦 牧野ハル子 老木加代子 雲庵まち子	伊東康成 長門淳一 今野 孝 篠原久子 原口和子 高垣洋子	原口 実 高島栄造 山下英久	吉田晴雄 平井真治郎
	和野敏恵 宮本幸子 片山孝代 奥村龍夫 高垣光治 向所隆文 長尾海和 大上道徳 吉田知彦	雲庵まち子	片山直明	高島栄造	伊東康成	長門淳一	山下英久	原口 実	平井真治郎
	梅木澄代 岡崎むつゑ 片山孝子 松下正二 川村吉夫 井上 力 大西 剛 西森正昭 田中丸勝也	高垣洋子	山下英久	高島栄造	伊東康成	長門淳一	山下英久	原口 実	平井真治郎

## 十一月月次祭祭文

立教百八十二年十一月二十二日

この神床にお鎮り下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます。

親神様には、陽気ぐらしを楽しみに、人間世界をお創め下さり、昼夜を分かつたずお見守り下さり、時に応じてだんだんのお仕込みを賜り、幾重の道すがらも恙なきようお連れ通り下さいます御守護の程は、誠に有難く勿体ない極みでございます。

私共は届かぬながらもご恩報じを思い念じて、教祖のひながたを頼りに、たすけ一条の道を懸命に勤めさせて頂いておりますが、その中にも今日の吉き日は、当大教会十一月の月次祭を勤める芽出度い日柄を迎えましたので、只今から、おつとめ奉仕者一同、陽気な心を一つに合わせて、座りづとめ、てをどりを勇んで勤めさせて頂きます。

御前には、親を慕って帰り集いました大勢の道の子達が、喜びも一入に、日頃賜る御厚恩にお礼申し上げ、なおも変わらぬ親心にお縋りする真実の状をも御覧下さいますして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

私共をはじめ、教会長、よふぼく、信者一同は、自ら勇み、人を勇ませて道の将来を担う人々と共に教祖のひながたを辿ることを

日々意識し、一層の成人に努めさせて頂く決心でございます。

何卒、親神様には、かく祈念しております教え子達の真実をお受け取り下さり、たすけ一条の道が一層伸展し、多くの人が真実の親を慕い、そのお心に抱かれて、感謝と喜びの心に満ちあふれて暮らすことのできる世の状に、お連れ通り頂きますよう一同と共に慎んでお願い申し上げます。

(原文のまま)

## 入社祭

(立教182年11月22日)

▼雄福峰△入江美紗

【計1名】

11月22日(金)

【香川県丸亀市】

天候 曇後時々雨  
 最低気温 5.8℃  
 最高気温 13.2℃  
 平均気圧 1027.4 hPa  
 平均湿度 87%  
 平均風速 1.2 m/s  
 日照時間 0.0 時間  
 降水量 0.5 mm  
 ※ 降水量は日々の総雨量



# ホノルル教会創立90周年記念祭

ホノルル教会(斉藤カールン会長、米国ハワイ州ホノルル市)では、11月10日午前9時30分より、大教会長夫妻ならびに山中修吾ハワイ伝道庁長を迎え、11月月次祭に併せて創立90周年記念祭を執り行いました。参加者約120名。

ホノルル教会は昭和4年(1929)10月28日、上野作次郎を初代会長としてホノルル市内に設立の理のお許しを戴いたことに由来します。おつとめに先立ち挨拶に立った大教会長はまず、ホノルル教会90年の歴史において



尽力された歴代会長や教信者の方々にお礼を申し上げ、続いて記念祭の意義について3点述べられました。

一つ目は、おさしづ、「精神一つの理によって、一人万人に向かう。神は心に乗りて働く。(明治31・10・2)」を引用され、先人の信仰姿勢に学ぶこと。

二つ目は、本島大教会における二代真柱様のお言葉を引用され、親神様の思召を再確認して、陽気ぐらし世界実現に向けて、まず私たちが日々教えを実践すること。

三つ目は、2年半後の大教会創立120周年を目指して、今日の記念祭が万人に拡がる出発点となるよう、各人の今後の活躍を促されました。

続いておつとめが陽気に勇んで勤められました。

直会は教会の近くにある和食レストランで行われ、90年を振り返るスライドショーやフラダンス、ウクレレやダンスなどが披露されました。

# 「地域の集い」関東&九州ブロック

次代を担う教会長子弟や道の後継者が、それぞれの地域で集い、信仰と親睦を深める「地域の集い(教会長子弟育成委員会主催)」。関東ブロックと九州ブロックで開催されました。

## ◆関東ブロック

関東ブロックでは、11月17日に本京分教会(東京都練馬区)で行われ、40名が集いました(参加者27名、スタッフ9名、少年会員4名)。

まず教典第六章「てびき」を全員で拝読し、後藤正治委員より「入信のてびき」と題して講話が行われました。続いて「ふりかえり」では各々の入信の元一日について練り合い、教会周辺で神名流しを行いました。

## ◆九州ブロック

九州ブロックでは、11月10日に赤峰分教会福岡布教寮(福岡市中央区)で行われ、16

名が参加しました。

「路傍講演の原稿作り」に取り組み、午後は布教寮から繁華街まで神名流し、さらにキヤナルシティ博多前で路傍講演を行い、よろづよ八首を奉唱しました。



関東ブロック



地域の集い:九州ブロック

## 計報

攝淡分教会長

# 香川秀孝氏



かかわひでたか  
香川秀孝氏(攝淡分教会4代会長)は11月14日午前7時28分お出直しになりました。享年51歳。

葬儀はみたまうつしが11月16日午後7時より、告別式が翌17日午後2時より、片山直明本攝分教会会長斎主のもと、堺市内の葬祭場にて執り行われました。葬儀に大教会長が参列しました。

香川秀孝氏略歴 昭和43年10月26日生まれ。昭和62年1月11日、おさづけの理拝戴。同年3月1日、天理教校附属高等学校卒業。立教153年3月12日、第二専修科前期修了。同年5月12日、教人登録。立教160年2月20日、教会長資格検定合格。同年3月26日、攝淡分教会4代会長拝命。教会長在職期間22年7ヶ月間

## 本亀分教会創立100周年記念祭

本亀分教会(長尾海和会長、香川県丸亀市)では、11月16日午前11時より、大教会長夫妻を迎え(随行・片山好治役員)、11月月次祭に併せて創立100周年記念祭を執り行いました。参加者26名。

本亀分教会は片山好造会長夫人である片山ハル先生を初代会長として、大正8年12月25日、設立の理のお許しを戴きました。以来、本島への連絡船が風雨により欠航するなどしたときには丸亀の拠点教会としての役割も担ってきまし

した。祭典当日は晴天に恵まれる

中、執り行われました。

挨拶に立った大教会長は、教会が100年の大きな区切りを迎えたことを踏まえ「これから新たなページを歩み始める句です。まず大きな心で大きな目標を立てて、歩み出して

「頂きたい」と述べ、さらに2年半後に迎える大教会創立120周年記念祭について、「一人ひとりが勇むところに成人の歩みがあり、一手一つに心を結ぶことによって不思議なご守護をお見せ頂ける。会長を芯に、皆の心を揃えて、おたすけの上に励んで頂きたい」と述べられました。



### 東京ディズニーリゾート出演を目指して

【本島団鼓笛隊】

本島団鼓笛隊結成55周年記念  
東京ディズニーリゾート:ドリーマーズ・オン・ステージ出演を目指して

#### ●参加対象

- ◇本隊(2020年度小学4年生以上)
- ◇2020年春季ならびに夏季合宿に参加可能な隊員

※ビデオ撮影がありますので、春季合宿にもご参加をお願いします

※合宿初めての隊員でも参加できます

#### ●応募から出演までの主な流れ

- 3月: 春季合宿にてビデオ・集合写真撮影
- 5月: 応募(集合写真提出)、抽選
- 6月: 結果通知後、ビデオ提出
- 8月上旬に出演(8月4,5,6日のいずれかの出演になります)

## 女子青年大会に71名



第29回女子青年大会が11月3日、教会本部で開催され、本島支部女子青年委員部(原口いつほ委員長)から71名(内女子青年48名、他23名)が参加しました。

大会前日の2日は、別席と基礎講座に分かれて受講し、夕づとめ後の東西泉水プール前広場で開催された「よるこびフェスティバル」では本島女子青年としてホットコアを販売しました。

女子青年大会の式典は3日午前10時より本部中庭で開催され、中山はるえ婦人会長様より、来年の婦人会創立110周年の節目に向けて「女子青年活動のかどめ」の実行と、仲間との談し合い、論し合いのお話を頂きました。

午後からは記念行事として、支部ごとに「支部のつどい」が行われ、本島支部では片山かおり支部長のお話について、手作りすころくトークを使ったねらいに盛り上がりました。

## 青年会本島分会総会

青年会本島分会(片山秀明委員長)では、11月23日に大教会において総会を開催。18名が参加しました。  
中山大亮青年会長様の御

告辞、大教会長様の祝辞を頂き、基本方針「世界たすけへの挑戦」を掲げ、心新たに活動していくことを誓いました。午後は丸亀にて讃岐うどんツアー、夕方は大教会でのきしん、夜は親睦会を行いました。



### よこひこと 慶事

岩橋守行氏 (本海分教会 長)玉恵さん夫妻に11月9日 第三子長男が誕生しました。「理喜」と命名。



紙面編集の都合により、統計は来月号に掲載させていただきます。





### 新年の別席について

【教会本部】

- 受付：1月2日午前8時より、東左第1棟1階。ただし1月5日より7日(お節会期間中)は、東左第3棟1階にて受付。
- 別席食：1月2日より4日までは、第一食堂利用となります。

### お節会

【教会本部】

- 期間：1月5日、6日、7日
- 受付時間：午前10時より午後1時
- 一般受付場所：おやさとかた真東棟前広場
- 入場整理券は、詰所事務所でお渡しします

### 教会長夫妻研修会

【教会長子弟育成委員会】

- 日時：立教183年1月25日(土) 12時50分より17時30分まで
- 会場：本島詰所4階講堂
- 対象：教会長夫妻(教会長欠席の場合、代理の方をお願いします)
- 受講御供：500円
- 講師：中臺勘治先生 (報徳分教会前会長・日本橋大教会布教部長)
- 参加報告書期限：12月21日(参加・不参加に関わらず、全教会ご提出ください)

### 会計部より

【会計部】

- 大教会総合会費は1ヶ月4,000円(年額48,000円)です。各会のスムーズな運営のため、遅れないよう、大教会会計部へお納め下さい。
- 立教183年お鏡料・献灯料・御神酒料一教会2,000円です。本年12月22日までに、大教会会計部へお納め下さい。

### 学修・高校卒業生コース

【学生会】

- 立教183年学生生徒修養会 高校卒業生コース
- 期間：令和2年3月10日(火)～12日(木) [2泊3日]
  - 受講対象：①令和元年度高等学校卒業予定者 ※卒業後の進路は問いません。※天理高等学校第I部、第II部、天理教校学園高等学校の卒業予定者も受講可能です。②全期間を通して受講できる者
  - 定員：500名
  - 受講御供：5,000円
  - 内容：講話、ねりあい、グループワーク、お楽しみ行事など
  - 集合日時：3月10日(火)午前9時～9時30分
  - 解散日時：3月12日(木)午後2時頃
  - 申込方法：次の書類を整え、最上級教会長を経て、学生担当委員会事務局に申し込んでください。・受講願書1通・返信用封筒1枚(保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、82円切手を貼付ください)
  - 申込期間：令和元年11月25日(月)～令和2年1月31日(金) ※定員になり次第締め切られます
  - 受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて1月15日以降、随時保護者宛に郵送されます。
  - 本人の意思を確認の上、お申し込みください。
  - 受講願書は Website でもダウンロードできます。  
<http://tsa.tenrikyo.or.jp>

### 青年会ひのきしん隊

【青年会本島分会】

- 【ひのきしん隊本隊】
- 期間：2月1日から2月24日まで
  - 集合：1月31日、本島詰所
  - 貸与物品：ヘルメット・作業服・ハッピー・帯
  - 携行品：保険証、日用品、作業用ベルト、作業用靴下、履き物(日常用・作業用・サンダルあれば便利)、ネクタイ、カッターシャツ、スラックス、白靴下、筆記用具
  - 参加対象：高校生(17歳)以上の男子。青年会層以上(41歳以上)でも大歓迎
  - 宿泊先：〒632-0012 天理市豊田町200-1 第百母屋青年会ひのきしん隊
- 【ひのきしん隊3日隊】
- 期間：2月14日午後3時から2月16日午前8時まで
  - 詳細については青年会本島分会委員まで

### 天理教災害救援募金

【天理教災害対策委員会】

- 「令和元年台風19号」災害救援募金
- 募金期間：令和元年10月18日から令和2年1月10日まで
  - 現金書留の場合  
〒632-0015 天理市三島町1-1 天理教道友社「天理教災害救援募金」係
  - 郵便振替の場合  
00930-7-329329「天理教道友社」  
※通信欄に「天理教災害救援募金」と明記してください。
  - 銀行振入の場合  
南都銀行天理支店 普通預金2332239「天理教災害救援募金」  
※南都銀行本店・支店間の窓口での振り込みについては手数料はかかりません(他行からは手数料が必要です)。なお、10万円以上の現金を振り込まれる場合は、身分証明書の提示が必要となります。
  - ご持参くださる場合  
天理市内の道友社1階カウンターおよび道友社各販売所、東京支社で受け付けています。
  - 「現金書留の場合」「ご持参くださる場合」に関しては、受け付け次第、受領証を送付、またはお渡しさせていただきます。

### 布教の家入寮者募集

【布教部】

- 願書配布：11月25日開始
- 願書受付：1月25日午前9時より2月25日午後4時
- お問合せ：天理教布教部布教一課  
TEL 0743-63-2243

### 12月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

- 〈本部食堂ひのきしん〉
- 期間：12月1日～15日
  - 派遣教会：渋谷分教会
- 〈大教会・食堂ひのきしん〉
- 期間：12月21日～22日
  - 派遣教会：本岡①、赤峰②
- 〈詰所・食堂ひのきしん〉
- 期間：12月24日20:00～26日13:00
  - 派遣教会：本京②、本篠①